

1 富山県の動き

(1) 概 況

本県経済をみると、個人消費は、このところ持ち直しの動きがみられる。住宅建設は、弱含んでいる。設備投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、このところ増加している。生産は、一部に持ち直しの兆しがみられる。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。企業倒産の件数は、一桁台となっている。消費者物価は、おおむね横ばいとなっている。以上のように**最近の本県の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、一部では下げ止まりの動きがみられる。**

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策などを背景に、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

県としては、引き続き、社会資本整備の推進、金融対策などの中小企業支援、産業振興と一体となった雇用創造、人手不足の分野における雇成型訓練等を内容とする経済・雇用対策に取り組むとともに、医薬・バイオなどの健康関連産業、環境・エネルギー関連産業、先端ものづくり産業の育成に向けたチャレンジに取り組むこととしている。

主な指標	指数等	前月（期）比	前年同月比
鉱工業生産指数（7月）	87.8	2.6%	▲12.4%
鉱工業在庫指数（7月）	111.5	▲1.4%	2.4%
大型小売店販売額（7月速報）	105億円	（全店ベース）	0.3%
新設住宅着工戸数（7月）	428戸	▲6.6%	▲25.4%
消費者物価指数（7月・富山市）	101.2	0.5%	0.3%
有効求人倍率（7月・季節調整値）	1.17倍	▲0.04ポイント	▲0.72ポイント

※指数は、平成27年=100

※鉱工業生産指数・在庫指数は、年間補正・季節指数の再計算により平成30年1月以降の数値を更新

※有効求人倍率は、新季節指数により改訂により平成27年1月以降の数値を更新。

(2) 個人消費

個人消費は、このところ持ち直しの動きがみられる。大型小売店（百貨店・スーパー等）販売額をみると、6月は105億74百万円の後、7月の速報値105億円は前月比0.7%減（前年同月比0.3%増、既存店は前年同月比0.8%増）となった。また、耐久消費財の販売動向を乗用車（軽を含む。）の新車新規登録台数でみると、7月は3,301台で前年同月比12.5%減の後、8月は2,691台で同13.0%減となった。

(3) 住宅建設

住宅建設は、弱含んでいる。新設住宅着工戸数をみると、6月は総戸数458戸（前年同月比4.6%減）の後、7月は総戸数428戸（同25.4%減）で、内訳をみると、持家は267戸（同12.7%減）、貸家は124戸（同44.4%減）、分譲住宅は37戸（同14.0%減）などとなっている。

(4) 設備投資

設備投資は、弱めの動きとなっている。日本銀行金沢支店「北陸3県企業短期経済観測調査」（令和2年6月調査）により、2020年度設備投資計画をみると、富山県は、全産業で前年度比5.0%減となった（ソフトウェア投資額を除く）。内訳は、製造業で前年度比8.5%減、非製造業で前年度比1.9%減となった。

(5) 公共投資

公共投資は、このところ増加している。公共工事前払金保証事業統計（北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱調べ）で公共工事請負金額をみると、6月は140億23百万円の後、7月は176億71百万円で前年同月比3.8%増となった。また、令和2年5月－令和2年7月期の平均額は、143億54百万円で前年同期比6.9%減となった。

(6) 生産

鉱工業生産の動きをみると、一部に持ち直しの兆しがみられる。鉱工業生産指数（平成27年＝100、季節調整済）は、6月に85.6となった後、7月は前月比2.6%上昇の87.8（前年同月比12.4%低下）となった。業種別に動き（前月比）をみると、13業種中、化学工業、汎用・生産用・業務用機械工業など7業種が上昇し、電気機械工業、鉄鋼業など6業種が低下となった。鉱工業生産者製品在庫指数は、6月に113.1となった後、7月は前月比1.4%低下の111.5（前年同月比2.4%上昇）となった。業種別に動きをみると、13業種中、化学工業、非鉄金属工業の2業種が上昇し、電気機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業など11業種が低下となった。

(7) 雇用情勢

雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。月間有効求人数（パート含む。）は7月に18,281人（前年同月比32.7%減）、月間有効求職者数（パート含む。）は7月に15,753人（同8.7%増）となった。有効求人倍率（季節調整済）は、6月に1.21倍の後、7月は1.17倍となった。

(8) 企業倒産

企業倒産件数は、一桁台となっている。企業倒産（負債額1,000万円以上、東京商工リサーチ富山支店調）の状況をみると、7月に8件、負債総額10億37百万円（前年同月：2件減、4億53百万円減）の後、8月の件数は7件で、負債総額5億12百万円（前年同月：3件減、1億70百万円減）となった。産業別では、サービス業他が4件、農・林・漁・鉱業、建設業、運輸業が各1件だった。破綻原因は、販売不振が5件、他社倒産の余波が2件だった。

(9) 物価

消費者物価は、おおむね横ばいとなっている。富山市の消費者物価指数（平成27年＝100）をみると、総合指数は、6月は100.7で前月比0.1%下落（前年同月比0.2%下落）となった後、7月は101.2で前月比0.5%上昇（前年同月比0.3%上昇）となった。前月比で「食料」、「交通・通信」が上昇したため、総合指数の前月比は上昇。また、生鮮食品を除く総合指数は100.9で、前月比は0.2%上昇（前年同月比同水準）、生鮮食品の指数は109.2で、前月比8.0%上昇（同6.9%上昇）となっている。

(10) その他の動き

① 工業の動き (7月～8月)

業種別	企業ヒアリングの特徴点
一般機械	<p>自動車産業、航空機産業向けの軸受については、生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに停滞となっている。雇用状況については、足りている。</p> <p>ロボット関連については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに停滞となっている。雇用状況については、足りている。</p>
電子電気機械	<p>電子機器等については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、足りている。</p> <p>半導体については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに堅調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p> <p>変圧器、配電盤については、生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
輸送機械	<p>現状、見通しともに停滞となっている。雇用状況については、足りている。</p>
金属製品	<p>アルミニウム建材製品、住宅規格商品については、生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>民生用包装容器については、生産は横ばい、出荷は増加となっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
非鉄金属	<p>生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、足りている。</p>
鉄鋼	<p>生産は減少、出荷は横ばいとなっている。現状、見通しともに停滞となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>

業種別	企業ヒアリングの特徴点
化学	<p>基礎化学品、機能化学品、農業化学品については、生産は減少となっている。現状は低調、見通しは停滞となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>医薬品については、生産は横ばい、出荷は減少となっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
紙・パルプ 印刷紙器	<p>生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに停滞となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
木材・木製品	<p>需要については、国産材、北洋材ともに弱含みとなっている。供給については、国産材は強含み、北洋材は低迷している。価格については、国産材、北洋材ともに弱含みとなっている。見通しは、国産材、北洋材ともに弱含みとなっている。</p>
プラスチック	<p>車両関連については、生産は減少、出荷は増加となっている。現状、見通しともに停滞となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p> <p>家庭用品、園芸用品、工業製品については、生産は増加、出荷は横ばいとなっている。現状、見通しともに堅調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
情報サービス	<p>受注は横ばいとなっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
繊維	<p>生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに停滞となっている。</p>

② 労働市場（富山労働局職業安定課調）

7月の富山県の雇用情勢をみると、新規求人数（パート含む。）は6,635人で、前年同月比36.8%減となった。主要産業別では、情報通信業(1.2%)等で増加し、建設業(▲31.7%)、製造業(▲39.8%)、運輸業、郵便業(▲52.5%)、卸売業、小売業(▲48.2%)、学術研究、専門・技術サービス業(▲45.3%)、宿泊業、飲食サービス業(▲40.8%)、生活関連サービス業、娯楽業(▲52.0%)、医療、福祉(▲22.0%)、サービス業(▲39.4%)等で減少した。

労働力需給の趨勢を有効求人倍率（季節調整値）でみると、7月は1.17倍となり、前月比で0.04ポイント低下となり、前年同月比で0.72ポイント低下となった。

③ 近年の企業立地動向

区 分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
雇用創出数	655人	556人	571人	517人	424人
企業立地件数	57件	57件	58件	70件	72件

※県独自集計

・主要企業用地の分譲状況

富山新港臨海工業用地 426.8ha（うち分譲済 413.4ha、分譲率 97%）

小矢部フロンティアパーク 12.7ha（うち分譲済 12.3ha、分譲率 97%）

・最近の主な立地企業（平成30年5月以降、増設を含む）

企 業 名		業 種	竣 工 操業開始 年 月
NSK富山(株) (高岡工場)	高岡市	産業機械用軸受	2年7月
アクティブファーマ(株) (研究・品質管理棟等)	富山市	医薬品	2年5月
東亜薬品(株) (試験管理棟)	富山市	医薬品	2年5月
(株)大江鉄工	射水市	鉄鋼製品	2年5月
サンエツ金属(株)	高岡市	黄銅線	2年4月
(株)高岡製作所 (第2工場)	高岡市	鋳鉄鋳物	2年3月
(株)ロキテクノ (北陸事業所)	滑川市	産業用フィルター	2年1月
アステラスファーマテック(株) (バイオ原薬棟)	富山市	医薬品	元年12月
富士フィルム富山化学(株) (701工場)	富山市	医薬品	元年12月
協和マシン(株) (テクニカルセンター)	高岡市	生産用機械器具	元年12月
立山化成(株) (研究所)	射水市	医薬品	元年12月
(株)森田製作所	富山市	精密板金加工	元年11月
アクテック(株)	富山市	産業機械製造	元年10月
(株)中村機械	射水市	機械装置製造	元年10月
(株)ヒラ・テック	富山市	板金製缶加工	元年7月
(株)富山村田製作所 (技能習得施設)	高岡市	電子部品製造	31年4月
(株)ウーケ	入善町	食料品	31年4月
アルビス(株) (プロセスセンター)	射水市	惣菜・精肉加工	31年3月
(株)ウッディパーツ (第3工場)	高岡市	木材加工	31年3月
東亜薬品(株) (第4製剤棟)	富山市	医薬品	31年2月
(株)ワイエス・ワン	富山市	ペットフード製造	30年12月
明興工業(株)	射水市	フッ素樹脂加工	30年12月
太平(株)	南砺市	プラスチック製品	30年12月
ダイト(株) (第8製剤棟)	富山市	医薬品	30年11月
(株)内山精工	上市町	汎用機械器具	30年11月
シロウマサイエンス(株)	入善町	プラスチック製品	30年9月
コーセル(株) (研究開発施設)	富山市	電源製造	30年9月
ショウワノート(株) (新工場・産業観光施設)	高岡市	学習帳製造	30年5月
日本メジフィジックス(株)	小矢部市	放射性医療品	30年5月

2 全国の動き

内閣府の月例経済報告をご参照ください。

内閣府ホームページ：<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>